

企業財務IT

ニューコム エクセルの活用高度化

大手企業など350社導入

入力データを一元管理

ニューコムが開発したエクセル活用の高度化ツールに、金融機関の関心が高まっている。機能や操作方法を変えらることなく、運用管理を一元化することでデータ入力や利活用に関する業務を効率化する。

金融機関を始め多く業務でマイクロソフトの企業は、さまざまな社の表計算ソフト「エ

クセル」やデータベースソフト「アクセス」を利用して、専門知識がなくても活用しやすいが、営業店などの現場で経験を基に独自に改良するケースもあり、統一的な運用管理が課題になっていた。システム化はコス

ト負担が大きいほか、慣れた機能が変わるとに現場の抵抗もあった。

ニューコムの「db

SheetClient (ディーピーシート・クライアント)は、エクセルやアクセスの機能や操作性を維持したまま、データや入力フォーマットを本部などで集中管理し、フォーマットの改変やデータの二重入力を防ぐほか、リアルタイムで情報共有も可能になる。

運用面でも、行職員の担当などによって利
用可能な機能や業務などを制御できるほか、操作履歴の管理で問題発生時の迅速な対応も可能にしている。
エクセルやアクセスを使ったさまざまな業務に適用できるのが特徴で、シャープや富士ゼロックスなど大手企業も含めて約350社が導入。金融機関では呉信用金庫などが採用しており、ニューコムでは金融機関への提案を強化していく。